「スタイリステ」でつくる
チャイナ風つけ襟

このこうさくでつかうボンド
・ボンド 手芸用両面テープ スタイリステ
・ボンド ホツレーヌ

よういするもの

「ボンド 手芸用両面テープ　スタイリステ」	
「ボンド ホツレーヌ」	
布（レース生地）	幅（はば）80cm以上×35cm
グログランリボン	幅1.5cm×160cm分
四つ折りバイアステープ（ふちどり用）	幅1cm×160cm
型紙（かたがみ）	A3サイズでプリントアウトする

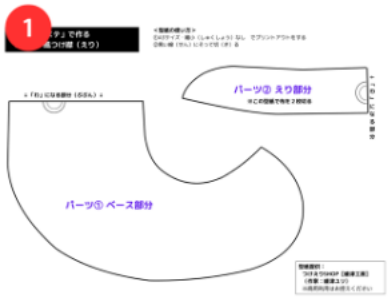
＜ひつような道具（どうぐ）＞
チャコペン、布切（ぬのきり）ハサミ、紙用（かみよう）ハサミ、文鎮（ぶんちん）、クリップ（★）
★の道具はあると 便利（べんり）だよ

レシピ制作：
つけえりSHOP【綾津工房】（作家：綾津ユリ）
※本レシピの商用利用はお控えください

※保護者の方へ
テープや接着剤は、説明書をよく読んでからお使いください。
またハサミなどを使うときは、気をつけて作業してください。

使うときの注意
・皮フにつかないように注意してください。
・接着の強さが低下してしまうので、粘着面に手を触れないようご注意ください。

つくりかた



ダウンロードした型紙（かたがみ）をプリントアウトし、切（き）りとる。
※くわしくは型紙を見てね

布を２つに折（お）った 折り目と、【パーツ①ベース】の型紙の「わ」の部分をそろえて固定（こてい）し、チャコペンで型紙をなぞっていく。

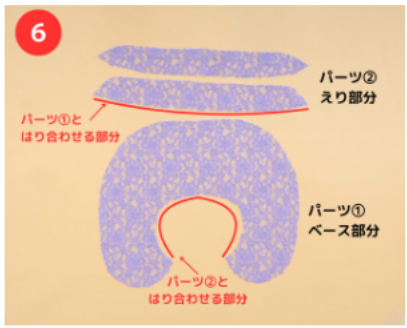
チャコペンでつけた線にそって、布用（ぬのよう）ハサミで切る。

同じように、【パーツ②えり部分】の型紙の「わ」の部分をそろえて固定（こてい）し、チャコペンで型紙をなぞっていく。

１つ目をなぞりおわったら、型紙をとなりにずらして、もういちど型紙をなぞる。

チャコペンでつけた線にそって、布用（ぬのよう）ハサミで切る。

★同じ大きさの布が２枚（まい）できるよ



３つのパーツを広げると、このような形になります。

２枚ある【パーツ②えり部分】のうち１枚のふちに「スタイリステ」を貼っていく。
※「スタイリステ」を切る時は紙用のハサミを使ってね。

★ポイント
「スタイリステ」の直線（ちょくせん）に布を合わせるイメージで、布をまっすぐにするようにしながら貼っていく。
※ひっぱると布が伸びて長さが変わってしまうので、伸ばさないように注意

❼で「スタイリステ」を貼ったものと、もう１枚の【パーツ②えり部分】を貼り合わせていく。

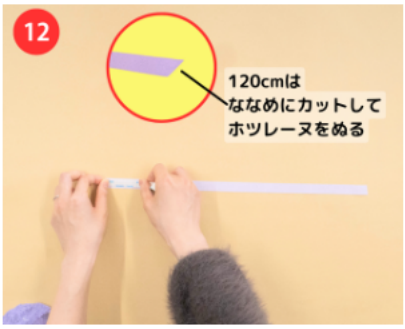
★ポイント
一気に貼らずに、3～５cmくらい剥離紙（はくりし　※白いツルツルした紙）をはがして貼るようにしていく

❽で貼り合わせた【パーツ②えり部分】の、長い側の直線部分に「ステイリステ」を貼る。

❾で【パーツ②えり部分】に貼った「スタイリステ」の剥離紙を少しずつはがしながら、【パーツ①ベース部分】を貼り合わせていく。

★貼り合わせる部分は❻で確認してね

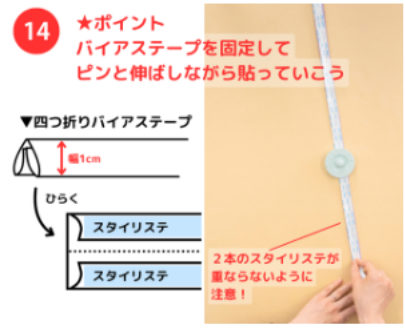
２つのパーツを貼り合わせた状態（じょうたい）。
貼り合わせた部分がピッタリしていれば、【パーツ①ベース部分】のパーツにはひだができてOK！



グログランリボンを120cm と40cmに切る。
【120cm】は端をななめにカットして、ホツレーヌをぬって乾（かわ）かす。
【40cm】は片面（かためん）にスタイリステを貼る。

⑩で貼り合わせた部分に重ねるように、⑫で「スタイリステ」を貼ったグログランリボンを貼っていく。

★少しずつ剥離紙をはがしながら貼っていってね



四つ折りバイアステープを開いて両側に「スタイリステ」を貼っていく。
※四つ折りバイアステープは、両側から布が折りこんであるので、折りこんである内側の両部分に「スタイリステ」を貼っていくイメージ。

★ポイント
バイアステープにしわが寄らないように、文鎮などで固定しながらピンと伸ばしながら貼っていってね

バイアステープで布のふちを囲むように、せなか側の中央部分からぐるっと１周貼っていく。
※ステップ１～４をくり返して貼っていく

★ポイント
カーブになっている部分は、「スタイリステ」の直線に布を合わせるイメージで、布をまっすぐにするようにしながら貼っていく
※ひっぱると布が伸びて長さが変わってしまうので、伸ばさないように注意

ぐるっと１周したら、貼り始めの部分と少し重なるように貼り合わせる。

⑬でリボンを貼ったのとは逆（ぎゃく）の面を上にして置き、パーツ①と②が重なっている部分に「スタイリステ」を貼る。

120cmに切ったリボンを真ん中から半分に折り、折った部分から20cmの所に、チャコペンで印をつける。
⑰で「スタイリステ」を貼った部分にリボンを貼り合わたら、できあがり！

いつものTシャツのアレンジはもちろん、浴衣（ゆかた）に合わせたりもできるよ！